

【飲食店 損益計算書 具体例】
損益計算書

自 平成 年 月 日, 至 平成 年 月 日

単位: 円

勘定科目	金額		対売上比(%)
[売上高]			
売上高	110,000,000	110,000,000	100.00%
[売上原価]			
期首商品棚卸高	149,000		0.14%
当期商品仕入高	28,690,000		26.08%
合計	28,839,000		26.22%
期末商品棚卸高	183,000		0.17%
売上原価		28,656,000	26.05%
売上総損益金額		81,344,000	73.95%
[販売管理費]			
役員報酬	19,700,000		17.91%
給料手当	24,271,000		22.06%
雑給	10,367,000		9.42%
法定福利費	1,663,000		1.51%
福利厚生費	70,000		0.06%
広告宣伝費	4,000,000		3.64%
交際費	237,000		0.22%
会議費	368,000		0.33%
旅費交通費	649,000		0.59%
通信費	188,000		0.17%
消耗品費	2,569,000		2.34%
修繕費	457,000		0.42%
水道光熱費	3,959,000		3.60%
新聞図書費	14,000		0.01%
諸会費	100,000		0.09%
支払手数料	24,000		0.02%
地代家賃	8,398,000		7.63%
保険料	243,000		0.22%
租税公課	117,000		0.11%
支払報酬料	1,097,000		1.00%
減価償却費	2,296,000		2.09%
雑費	283,000		0.26%
販売管理費計		81,070,000	73.70%
営業損益金額		274,000	0.25%
[営業外収益]			
受取利息	2,486		0.00%
営業外収益合計		2,486	0.00%
[営業外費用]			
支払利息	34,497		0.03%
営業外費用合計		34,497	0.03%
經常損益金額		241,989	0.22%
[特別利益]			
特別利益合計		0	0.00%
[特別損失]			
特別損失合計		0	0.00%
[当期純損益]			
税引前当期純損益金額		241,989	0.00%
法人税・住民税及び事業税		96,795	0.00%
当期純損益金額		145,194	0.13%



利益はでているけれど、資金的にはどうか、みてみましょう！

変動費	64,957,000
限界利益率	40.95%
固定費(減価償却費を除く。)	42,473,000

	パターンA	パターンB
借入返済/ローン返済(年間)	3,600,000	1,200,000
+ =	46,073,000	43,673,000
÷ 限界利益率 =	112,510,378	106,649,572
÷ 12月	9,375,865	8,887,464
	▽	△
当期の1月あたりの売上高 (110,000,000 ÷ 12月)	9,166,667	9,166,667

月あたり必要な資金

借入返済額がパターンBのように120万円であれば、資金的にも大丈夫ですが、パターンAのように360万円となると、事例の売上高では資金不足ということがわかります。